



秋葉区
ボランティア・
市民活動センター
だより

ポラフル

Volunteer x Colorful

ボランティアっていろんなカラーがあってステキ!



「あなたのまちでやさしさをひろげるために」～思いやり・つながり・支えあう～

社会福祉協議会では、学校等で福祉の学びの支援を行っています。

現在、コロナ禍で人々が抱える病気、不安、それに起因する差別により、これまで築いてきたさまざまなつながりが途切れそうになっています。

全社協・全国福祉教育推進委員会では、日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」を参考に、「あなたのまちでやさしさをひろげるために～思いやり・つながり・支えあう～(福祉教育教材)」を作成しました。

この「感染症」の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることで、

③差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらい、隠蔽として病気の拡大を促す

①未知なウイルスでわからないことが多いため不安が生まれる

②人間の生き延びようとすると本能によりウイルス感染にかかわる人を選び取る

第1の「感染症」 「病気」

第2の「感染症」 「不安」

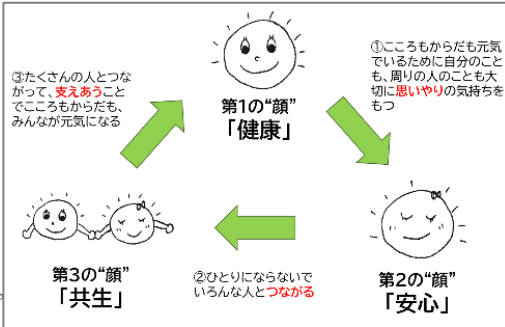
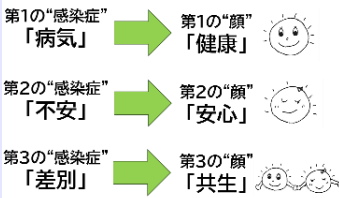
第3の「感染症」 「差別」

3つの「感染症」は どうつながっているの？

日本赤十字社新潟県支部さんでは、スライドにフリーアナウンサー伊勢みずほさんのナレーションが入った動画をインターネットサイトで紹介されています。

引用:日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～」

「あなたのまちでやさしさをひろげるために」 ～思いやり・つながり・支えあう～



新型コロナウイルス感染症による社会への影響は大きく、さまざまな課題や差別意識が顕在化しています。「今だからこそ」みんなが安心して暮らし続けられる地域にするため「考えなければいけないこと」「伝えなければいけないこと」があるのではないのでしょうか。

秋葉区社会福祉協議会でも、コロナ禍で停滞している福祉教育の取り組みを継続し、また新たな福祉教育の取り組みをすすめていきたいと思ひます。

新型コロナウイルス感染症発病時の取扱いについて

ボランティア活動保険のお知らせ

ボランティア活動保険では、特定感染症補償に新型コロナウイルスを追加して補償の対象となっています。

Q.保険加入後、すぐに補償されますか？

A.保険責任開始日からその日を含めて10日以内(不担保期間)に発病した場合は補償の対象となりません。あらかじめ活動の予定がある場合は、早めの保険加入をお勧めします。

※ボランティア行事用保険では、補償対象となりませんので、ご注意ください。



大雪 対応ボランティア 募集中

高齢者世帯や障がい者世帯を対象に雪かきボランティアをしていただける方を募集しています。ぜひご登録ください。

内容

玄関先の出入り口を確保するための必要最小限の除雪

場所・日時

ご登録いただいたボランティアの方と相談させていただきます。

登録

秋葉区ボランティア・市民活動センターにてボランティア登録票をご記入ください。

※降雪・積雪状況等により活動の機会がない場合もあります。

◆問い合わせ◆

秋葉区ボランティア・市民活動センター
TEL0250-24-8345



受講者
募集中

にいがた市の子育て支援

ファミサポ

提供会員研修 を開催します

新潟市ファミリー・サポート・センターは、主にこどもの預かりと送迎を行う子育て支援です。

「育児を応援してほしい人」と「応援したい人」を結びます。

子育てを応援したい方のお申込みをお待ちしています。

開催日:

2月16日(火)～18日(木)

開催時間は、科目ごとに異なります。

科目の内容など詳細は、新潟市社会福祉協議会のホームページでご確認いただくか、下記センターへお問合せください。

会場:新潟市役所 本館・分館(新潟市中央区学校町1番町 602-1)

定員:20名 テキスト代:2,000円

提供会員(育児を応援したい方)

新潟市・新潟市に隣接する市町村に在住、または新潟市で就業する方

-お申込み・お問合せ-

新潟市ファミリー・サポート・センター TEL 025-248-7178



ボランティア & 元気カアッ・サポーターの日

秋葉区ボランティア・市民活動センターでは、感染防止をしながら今できる活動、そして福祉施設とボランティア・サポーターの皆さんがつながる活動を月に1回開催しています。



～お届けしてきました～

皆さんと一緒に作った足置きは滝谷にある小規模多機能型居宅介護事業所の「よってけ亭」さんにお届けしてきました。ご利用者様からもとても喜んでいただいたようです♪



早速、使っていただきました！



12月は、ボランティア・サポーターのみなさんと一緒に牛乳パックを使った足置き作りを行い、全部で8つの足置きが完成しました！



他にも高齢者施設で使用する清拭用の布切りなども行っています。

～福祉施設の皆様へ～

「うちの施設にも欲しい！」「こんなの作ってもらえるかな？」などありましたらお気軽にご連絡、ご相談ください。

◆問い合わせ◆

秋葉区ボランティア・市民活動センター
TEL0250-24-8345

1月～3月も第1火曜日の午後に開催予定です☆（要事前申込）

秋葉区社会福祉協議会 社会福祉功労者表彰式

令和2年12月12日(土)に、秋葉区文化会館にて秋葉区社会福祉協議会 地域福祉推進フォーラムを開催しました。

第一部では、社会福祉功労者表彰を行い、秋葉区ボランティア・市民活動センターに登録をいただいているボランティア団体からは民謡宝紀民会様が表彰を受けられました。おめでとうございます！



民謡宝紀民会様は、平成7年より秋葉区の高齢者施設及び地域のお茶の間・サロンや町内会等で、民謡の訪問ボランティア活動を行っていらっしゃいます。



秋葉区ボラセンでは、運営委員の皆様からご意見をいただきながら、より良い運営を目指しています！



リレー☆コラム Vol.11

運営委員の皆様のコラムをご紹介します♪

古川 委員 (新津手話サークルみずわ)

あけましておめでとうございます
コロナ禍が続いていますが皆様お元気でお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルスの感染状況や対策を伝える県知事や市長の会見。感染の拡大を受けて聴覚障がい者にリアルタイムで情報を伝えるために、手話通訳の導入が全国で広がりました。



そんな時、手話通訳者は、必ずフェイスシールドかマウスシールドをしています。これは、聴覚障がい者が音声言語を話す「聴者の口」を見るためです。

手話サークルでも、3密をさけ途中換気しながら例会をやっていますが、会場までの行き帰りはマスク着用でも、交流時には、フェイスシールドかマウスシールド着用です。聴覚障がい者とコミュニケーションをとる際にはフェイスシールドかマウスシールド持参がお勧めです。



秋葉区社会福祉協議会

秋葉区ボランティア・市民活動センター

〒956-0864

新潟市秋葉区新津本町1丁目2番39号

新津地域交流センター2F

TEL：0250-24-8345

FAX：0250-23-3322

e-mail：vsc-akiha@syakyo-niigatacity.or.jp

ボラセンの
直通番号です！

●ボランティアに関するご相談・お問い合わせ
ご意見・ご感想など、ぜひお気軽にご連絡ください。

■開所時間

月曜～金曜

8：30～17：15

新津地域交流センターは
JR新津駅前にあります！

